

安全工学シンポジウム2026

イノベーションと安全

「安全工学シンポジウム2026」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。

[日時] 2026年6月24日(水)～6月26日(金)

[会場] 日本学術会議／ハイブリッド開催

特別講演 6月24日(水) 13:10～

イノベーションを可能にする安全—機械安全の視点から—

講演者：福田 隆文氏(長岡技術科学大学名誉教授)

パネルディスカッション

PD-1 次世代の安全教育

オーガナイズドセッション

- | | |
|--|---|
| OS-1 AIのイノベーションと安全の両立を考えるためのリスクガバナンス | OS-10 研究開発における化学物質火災のリスク |
| OS-2 安全と安心感 | OS-11 多様化する労働環境に対応した安全教育と評価方法 |
| OS-3 火薬研究のSDGsへの挑戦 | OS-12 先進技術システムのリスクアセスメントの課題と対応の考え方 |
| OS-4 自動車の自動運転の現状と展望 | OS-13 電力需要設備におけるスマート保安に関する最新動向 |
| OS-5 安全レベルの向上を目指して 既存の法体系の見直しとより良い安全文化の構築 | OS-14 レジリエンスエンジニアリング —これまでの20年、これからの20年— |
| OS-6 提案されている「新しい安全工学」に則った マネジメント手法の1提案 | OS-15 墜落・転落災害に関する安全問題と防止対策 |
| OS-7 信頼性・安全性の分野横断的将来展望 | OS-16 老朽・遺棄化学兵器廃棄事業の節目を見据えて |
| OS-8 木造化・木質化された建築物の火災安全性のあり方 | OS-17 近年に発生した災害の現状・防災まちづくりに係る 取組と今後の地域レジリエンスの在り方 |
| OS-9 家電など身近な製品での発火事故につながる 故障を考える | |

一般セッション

- | | |
|---|--|
| GS-1 自然災害(地震・水・土砂災害)と安全 | GS-4 建設に関する安全性と信頼性 (計画、設計、施工、防災など) |
| GS-2 安全と人間性、社会特性 | GS-5 燃焼、火災、爆発に関する安全性 |
| GS-3 システムの安全性と信頼性/機械に関する 安全性と信頼性/その他 | GS-6 電気、電子および情報に関する安全性と信頼性 (コンピュータ関連システム、セキュリティを含む) |

主催：日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

共催：日本機械学会、他30学協会

参加方法

事前web申し込み(参加は無料ですが、ホームページから参加申し込みが必要です。)

<https://www.gakkai-web.net/anzen/reg/index.html>

予稿集販売

webにて申し込み(一般5,000円、学生2,000円)(PDFダウンロード版となります)

問合先事務局

一般社団法人 日本機械学会
(事務局代行・トヨー企画株式会社)

[E-mail] anzen@gakkai-web.net
<https://www.anzen.org/index.html>